

2011アジア・アフリカ救援米運動

高島町でどろんこ田植え実施

総勢60名が豊作を願い良い汗を流す・子どもははしゃいでどろんこ



アジア・アフリカ救援米どろんこ田植えが5月21日(土)に長岡市高島町の田んぼで実施された。当日は曇り空だったが、作業を進めるうちに次第に晴れ、子供を含め60名の参加があった。

援米中越地区実行委員会は、連合中越地協・総合生協・サークルみずばし・食とみどり水を守る長岡地区労農市民会議で構成されている。8時30分に実行委員会、ごろ

押し作業を開始。10時に開会となった。まず、連合中越の羽賀副議長より「今日の天候は田植えを実施するには丁度良いと思

う。くれぐれも、ケガの無いように」と挨拶。



第715号 2011.6.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円

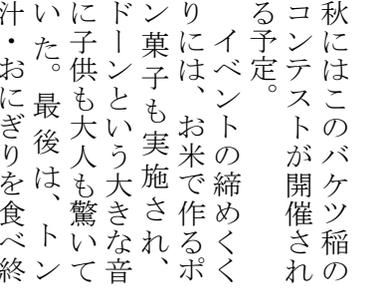


続いて、食とみどりの夏井さんより「3月11日に発生した東日本大震災で被害を受け

た原発により、(原発)周囲の方々の本年作付に影響し、秋の収穫がどうなるのか心配。田植えをして、稲刈りをするのは当たり前前のサイクルだが、感謝して行つてほしい」と挨拶がなされた。田んぼ提供し、管理をいた

た。矢尾板さんからも挨拶を受けた。田植え指導を受け、早速参加者たちは田んぼに入

った。子供たちは裸足で入る田んぼにはしゃいで、服がどろんこになつていた。大人は腰を伸ばし伸ばしの作業で、田植えは1時間半で終了した。また、家庭で育てる「バケツ稲」を実施し、7個のバケツ稲が作られた。



秋にはこのバケツ稲のコンテストが開催される予定。

イベントの締めくくりに、お米で作るポン菓子も実施され、ドーンという大きな音に子供も大人も驚いていた。最後は、トン汁・おにぎりを食べ終

連合中越第22回幹事会
82回地区ミーティング反省会開催
当面の活動と次回ミーティングへ意見交換

連合中越の幹事会が、5月20日(金)18時30分から長岡市内で開かれた。

幹事会の開会にあたり、矢島議長は「デモ行進の無いミーティングであったが、無事終了した。講演も良かったのではなか。震災対応は息の長い取り組みとなる。連合も労働者側から生活見直しの提言をしていくことも必要ではないか」と挨拶がなされた。

報告事項は、連合中越地協中間決算と各支部中間決算について報



続いての審議事項では、地協委員会と支部代表者会議ならびにながおかLSC通常総会、アジア・アフリカ

救援米田植え等当面の活動について協議決定がなされた。また、ボランティア体験事業として「地域循環ネットワーク」給食残さ回収を6月から毎週火曜日実施していくことが決定した。

第2部ミーティング反省会は、正・副集団長とSJネット委員も合同で開かれた。

デモが無い中で集団報告や場内整理のあり方、参加者が楽しめる抽選方法、各組合からのDVD原稿の集め方として大震災募金等について意見が寄せられた。また、記念講演は良かったとする声が大勢であった。各地区ミーティング報告では、見

新潟水俣病第4次訴訟の和解を受け、原因企業、昭和電工の会長が5月8日、新潟水俣病の公式発表から45年経って、初めて被害者に謝罪した▼なぜ、ここまで時間がかりながら全面解決にいたらないのだろうか。要因は様々あるが、この中でもいわゆる「専門家」といわれる人たちの責任は本当に重いと思う▼第1次訴訟で農薬説や、爆薬説などで昭和電工を擁護し、原因の特定を遅らせた専門家。水俣病の認定基準を変更して患者を切り捨てた専門家。などなど▼これらに対して、被害者の側に寄り添って、原因の究明、被害実態の掘り起こしに懸命

東蔵王2 (No.44)

副議長 **横澤 勝之**

に努力を続けた研究者、医師などの医療関係者なども多くいた。その代表格である原田正純さん(元熊大医学部。患者の立場から徹底した診断と研究で水俣病に

関してもっとも詳しい医師)の言葉が重い▼「水俣病の原因のうち、有機水銀は小なる原因であり、チツソ(熊本水俣病の原因企業)が流したということが中なる原因であるが、大なる原因ではない。大なる原因は、(人を人と思わない状況)いいかえれば人間疎外、人間無視、差別といった言葉でいいあらわされる状況の存在である▼水俣病から学ぶべき点は本当に多くある。

ながおかライフサポートセンター
通常総会

日時 6月10日(金)13:30~15:00
会場 長岡市勤労会館
内容 2010年度活動報告
2011年度活動計画 ほか

附地区の参加や震災カンパについて報告。同様に南魚沼支部から参加者数と震災カンパが報告された。これら意見をもとに国民市民担当で詰めた。最後は矢島議長の団結ガンパロウで締め

サラリーマン川柳(会議中 夢の中まで あくびする) (さからわず いつも笑顔で 従わず) (しゃしゃり出て 手出し口出し ボロを出し) (化粧台 お試しセット ばかり増え)

サラリーマン川柳 (めしまだか 待ってて犬が すんでから) (本当よ!! 必ず嘘に 付く言葉)

連合見附支部だより



5月22日見附地区支部はみのわの里見附ワークセンターで、メーデーチャリティ金を寄贈すると共に昨年栽培したソバを見附元気の会協力の下利用者の方々に食べて頂きました。

スタッフ含め総勢50名弱が参加しました。今回は見附ワークスでも開催の予定がりましたが土日の開催ができない為メーデーチャリティ金の寄贈だけでした。

メーデーでは震災カンパが行われ、7,112円のカンパ金が集まりました。見附市へ避難されている方に役立ててほしい旨お願いし、福祉課窓口へ届けました。

連合栃尾支部だより

★ J P 労組活動紹介★



J P 労組栃尾分会より5月22日に栃尾泉のいづみ苑においてボランティア活動の報告がありましたので紹介します。

J P 労組中越支部では毎年5月に支部内の組合員により栃尾のいづみ苑に草取りと車椅子の清掃ボランティア活動を行っており、今年も22日(日)に40名ほどの参加で行いました。

当日はあいにくの雨で草取り清掃は出来なくて、車椅子の清掃となりました。雨の降る日で肌寒い日でありましたが、参加者の方々は一台一台丁寧に清掃をしていただきました。いづみ苑の職員の方々も喜んでいただきました。10年以上続いている活動ですので、今後とも続けて活動していきたいそうです。

アルビレックス新潟 試合観戦 無料招待のご案内

J.LEAGUE DIVISION1 第18節
6月25日(土) 午後19:00 試合開始



アルビレックス新潟

VS



セレッソ大阪

会場：東北電力ビッグスワンスタジアム

6月15日までに申し込みは切れます

《お申込み方法》

下記欄に全項記載して連合中越 fax 0258-24-8930 へ申込む。先着順のため、チケット残券の有無を連合中越が申込者にfaxで返答する。その際、チケットの渡し方(郵送か取りに来る)について個別に調整。

申込みは組合単位でも組合員個人でもOK。

組合名 _____ 申込担当者名 _____

連絡先住所 〒 _____

連絡先電話 _____ 連絡先fax _____

チケット希望枚数 _____ 枚 (30枚まで可)

渡し方(何れかに○囲み) 郵送希望 ・ 事務局に取りに来る

※電話での申し込みは受けません。またチケット残数の有無についてのFAX返答は数日掛かることがあります。

里道・里山整備 参加者募集

◆作業日◆ 6月12日(日) 7月10日(日)
9月11日(日) 10月2日(日)

時間：9時30分～16時
場所：長岡市神町味噌桶 味噌桶城址
参加費：無料
持ち物：昼食、飲み物、タオル、軍手、長靴
※傷害保険等は各自
※少雨決行

雑木林や散策道の手入れを体験しよう

メッセージ

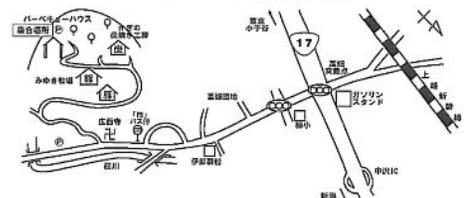
私たちが作業している里山はとても見晴らしが良く、長岡の町はもちろん新潟市は古町までも見通すことができます。「味噌桶城址」と呼ばれ、昔々、見張り城が建っていたそうです。

そんな里山を、誰でも楽しく自然体験できるようにと20代から70代まで力を合わせてコツコツ手入れしています。切った木で炭焼きもしています。



どんぐりの木(コナラ)を植樹

里山への行きかた



お申し込み必須※

【NPO法人 地域循環ネットワーク】長岡市東蔵王2-1-10
TEL 34-4450 FAX 34-3722